

# 高野新聞

## Vol.55

発行：高野たけし事務局  
〒249-0005  
逗子市桜山7-3-3 A-201  
046-871-7368



たかの  
**高野 たけし**

37歳

民主党公認 逗子市議会議員  
中央大学大学院修士課程修了

## 高野たけしの議員活動報告 ～住みやすいまちづくりに向けて～

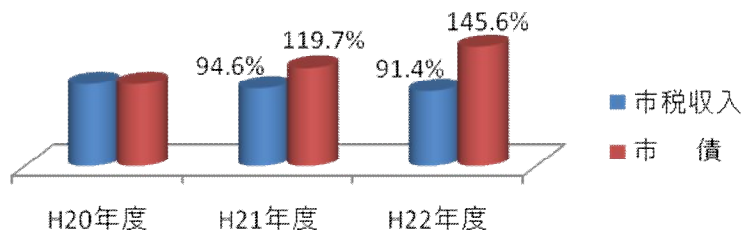
■ E-mail takano\_zushi@yahoo.co.jp  
■ FAX 046-871-7368  
ご意見・ご要望などありましたら、E-mail、FAXでお送りください。

2月9日から開会した平成22年第1回定例会では、特別委員会を設置して来年度予算の審議を行いました。来年度においては歳入の根幹をなす市税の減収が見込まれるため、苦しい予算編成となっています。(下図参照)

行政に限らず民間企業においても、長期ビジョンを掲げ、現状を分析した上で今何をすべきか検討し、資本に見合った事業展開を進めていくものです。しかしながら行政の悪しき慣習となっているのが、一度初めてしまった事業においては、廃止するどころか縮小することもなかなか出来ないことです。歳入が右肩上がりの時代であればそれでも良かったかもしれませんが、現在のように先行き不透明な時代においては財源を借金に頼ることにつながりかねません。

そこで総括質疑では、来年度予定している一部の既存事業を例に挙げ、進捗に合わせて事業規模、内容の変更を行う必要性がある旨、市長に提言しました。(右頁に一部掲載)

### 一般会計予算に占める市税収入と市債の変動



上のグラフは平成20年度実績を基準として市税収入と市債の変動を表したものです。

平成22年度の一般会計予算を見ると、市税収入が減少傾向にある一方、市の借金を表す市債は増加傾向にあることがわかります。こうした現状を鑑みた場合、財政体質の改善は喫緊の課題であると言えます。

## 政治資金の残り あと 9,818円

|                 |         |         |
|-----------------|---------|---------|
| (2/1～2/28までの内訳) | 収入…給与から | 50,000円 |
|                 | 支出…名刺   | 10,941円 |
|                 | 新聞作成    | 17,020円 |
|                 | たすき     | 14,700円 |
|                 | のぼり(3枚) | 9,505円  |

※今後も政治資金のガラス張りは必ず続けていきます。

### 例えば①…放置自転車対策事業

ここ数年放置自転車の撤去台数は減少傾向にあるものの、撤去車両に占める処分台数の割合は増加傾向にあります。

こうした中であって、提案のあった平成22年度の予算額は今年度とほぼ同額(約1,300万円)であり、事業内容の変更もありませんでした。そこで、事業の成果を踏まえて予算額の見直しを行い、処分車両の減少を図る施策の実施と放置自転車をなくすための抜本的な対策への再配分の必要性を指摘いたしました。

市長からは、平成22年度の入札に伴い予算額の適正化を図り、指摘を受けた対策についても検討していくとの回答がありました。

### 放置自転車定策事業とは？

放置禁止区域(市内各駅周辺に設定)に放置された自転車等を保管場所に撤去し、引き渡し(引き取りに来なかった場合は処分)を行うもの。平成20年度の撤去台数は1,176台、処分台数は502台。

### 例えば②…生ごみ処理容器等購入費助成事業

近年、生ごみ処理容器の価格が下がってきています。そのため、今年度とほぼ同額の予算計上ではありますが、助成割合を1/2から2/3に拡大して事業提案がされました。

市場価格が下がったのであれば、これまでと同率の助成割合でも購入者の負担は小さくなるはずですが、そこで、補助率を上げるための経費を、他のごみ削減事業に回すことも検討すべき旨、担当部長に指摘しました。

当該事業をはじめごみ処理政策については、効率性を踏まえた事業展開を引き続き求めていきたいと思っております。

### 生ごみ処理容器等助成事業とは？

家庭から排出される生ごみ量の抑制を目的に、家庭用生ごみ処理容器等の購入に際して、3万円を上限とし、購入金額の1/2を助成する事業。来年度からは助成割合が2/3に変更される予定。



## 行財政改革

### ◆事業の取捨選択を行う制度を構築

現在の地方自治体の財政状況は非常に厳しいと言われておりますが、それは逗子市においても例外ではありません。財政の弾力性を示す指標である経常収支比率は99.0%に達していることから財政の硬直化が進んでいることがわかります。

そこで、サービスの受け手である市民や、学識経験者など、第三者の目線を取り入れた事業仕分け制度の導入を提言していきたいと思っております。厳しい財政状況にあるからこそ、事業の取捨選択を行った上で、必要な事業であればいくらの予算を充てることで住民サービスを維持することができるのか、住民ニーズに応えることができるのか、しっかりと見極めていくことが大切であると考えています。

### ◆民間委託を有効活用

事業の取捨選択と同時に行うべきは、民間委託の有効活用ではないでしょうか。民間のノウハウ、人材、資本を活用した方が、市が直接行うより良いサービスを市民の方々へ提供できるのを見極めた上で、積極的に民間委託を活用していくべきと考えています。



## 環境・まちづくり

### ◆電線類の地中化で安心・安全の道路整備

逗子市は道路幅の狭い所が多いため、歩行者の安全性の確保が難しい状況になっております。そこで、歩道の拡幅とバリアフリー化の充実が図られるよう、必要箇所の電線類の地中化をさらに進めていきたいと思っております。また、踏切内道路の安全整備に関しても、JRや県などの関係機関へ引き続き働きかけていきます。

### ◆交通渋滞の緩和策を推進

JR逗子駅東口駅前には特に交通渋滞が激しいこともあり、交差点の改良を行うなど、その緩和に努めてきましたが、時間帯によっては未だ渋滞が起こりやすい場所となっております。今後も、道路やロータリーの形態、さらには近隣踏切りの遮断時間短縮など、抜本的な改善が図られるよう尽力していきます。

### ◆養浜対策の拡充で海岸保全

逗子海岸の砂浜には毎年600～800㎡の砂が投入されていますが、台風などの自然災害の影響もあり、ここ数年は特に砂の減少が激しくなっています。今後は、県、及び国に対しても養浜対策の拡充を求めながら、逗子海岸の環境保全に努めていきます。

## 市民の思いをカタチに変えるプロでありたい。 高野たけしの重点施策



## 少子高齢化対策

### ◆子育て中のお母さんをサポート

子育て中のお母さんが時間的余裕を作ることができるよう、そのサポート策の一環として、一定時間お子さんを預けることができる保育ステーションの設置を求めています。また、全区学区への学童保育施設の充実を図り、働くお母さんのサポート策にも努めていきたいと考えています。

### ◆小児医療費助成制度の拡充

病院にかかりやすい乳幼児を対象とした小児医療費助成制度においては、近隣自治体との格差を解消すべく、所得制限の撤廃と合わせて対象年齢の引き上げについても、その実現に向け尽力していきます。

### ◆健康増進策の拡充

高齢者の方々を対象に行っている体操教室、水中運動教室の開催回数の拡大に加え、内容の充実も図っていきます。

### ◆不足している特別養護老人ホームの誘致

本市における特別養護老人ホームの入所待機者数は307人(平成21年9月1日現在)にのぼっています。市民優遇策を導入した上での誘致を進めていきたいと考えています。



## 教育環境の整備

### ◆児童生徒それぞれに合ったカリキュラムの充実

児童生徒の習熟度の差が大きくなっていると言われている教育現場の現状を考えた場合、個々の不得手を解消しやすい少人数指導の充実が必要であると思っております。教員数の問題もあり現在は特定の科目に限られていますが、今後はより多くの科目で実施できるよう、市の予算での人的配置の充実を要望していきます。

### ◆中学校給食の導入に向けて

私も推進してきた中学校への完全給食の導入が実現に向け動き出しました。現在はそのような形態で導入すべきか庁内で協議中ですが、導入にあたっては適正な施設整備がなされるのか、また食の安全性と栄養面がしっかりと担保されるのか、より良い給食制度となるようその進捗をチェックしていきたいと思っております。

### ◆児童生徒の目線に立った支援体制の強化

近年、中学校の教育現場では小学校から中学校にあがったとたん学習や生活の変化になじめず、不登校やいじめに発展してしまう「中一ギャップ」が問題となっています。生徒たちがこうした状況に陥らないための対策として、小学校と中学校の教育現場の連携強化を推進していくとともに、全ての子ども達の課題に対応できる支援体制の強化にも努めていきます。